

卵巣腫瘍で手術され、手術前に MRI 検査を受けられた患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の当院の問い合わせ窓口までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 充実成分優位卵巣腫瘍の MRI 診断：決定木モデルによる手術前鑑別アルゴリズムの構築

[当院の研究責任者] 産婦人科 仲 碧子

[研究の背景]

手術の前に撮影する MRI の画像から、卵巣腫瘍がどんな性質のものかを詳しく調べることで、より正確に診断できるようになります。それによって、手術の方法や計画をより適切に立てることができ、患者さんご本人やご家族にも、今後の治療について分かりやすくご説明できるようになります。

[研究の目的]

卵巣腫瘍について、手術の前に撮る MRI の画像や診察のデータを使って、病気のタイプを見分ける方法を研究しています。たくさんの情報をもとに、コンピューターで診断の流れを作ることで、手術の前により正確な診断ができるようになることを目指しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2007 年 1 月から 2025 年 7 月の間に卵巣腫瘍で手術された患者さん

●研究期間：西暦 2025 年 9 月 1 日から西暦 2029 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：MRI 画像、病理標本

カルテ情報：最終診断名、検査時年齢、症状、手術様式

●検体や情報の管理

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術集会や学術誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

臨床検査科 産婦人科 仲 碧子

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881